

CONTENTS

第35巻 第3号 2008

原著

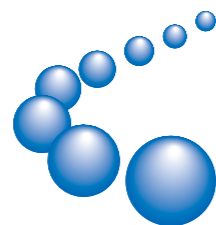
- Effect of Oral Procterol in Combination with Inhaled
Corticosteroids in Adult Patients with Bronchial Asthma Hironori Sagara et al... (153)
- Association Between Nerve Conduction Velocity and Clinical
Parameters Related to Diabetic Complications in Patients
with Type 2 Diabetes Kohzo Takebayashi et al... (161)
- 新生児に対する経鼻的持続陽圧呼吸法の効果と問題点 渡部功之 他... (169)
- マークミスの発生率が高い試験問題とは 一杉正仁 他... (175)

症例報告

- Massive Primary Cardiac Malignant Lymphoma found by
Occurrence of Cardiogenic Cerebral Embolism Hisashi Hasumi et al... (179)
- 盲腸癌による成人腸重積症の1例 小原靖尋 他... (185)
- 獨協医科大学で初めての脳死からの臓器摘出術の麻酔経験 神戸義人 他... (191)

特集

- 循環器疾患の加齢による変化 松岡博昭... (197)
- 神経内科でみる加齢による変化 竹川英宏 他... (203)
- 加齢による変化—内分泌代謝— 伴場信之... (209)
- 肺の加齢による変化 福田 健... (219)
- 加齢に伴う皮膚の変化
—細胞外マトリックスの変化を中心に— 齋持 淳... (227)
- 加齢による変化—産科婦人科— 大蔵健義... (237)
- 加齢による変化—運動器疾患と骨粗鬆症— 並川 崇 他... (245)
- 加齢と眼疾患 松井英一郎 他... (251)
- 加齢による変化—耳鼻咽喉科— 深美 悟 他... (259)
- 加齢による口腔領域の変化 川又 均 他... (263)



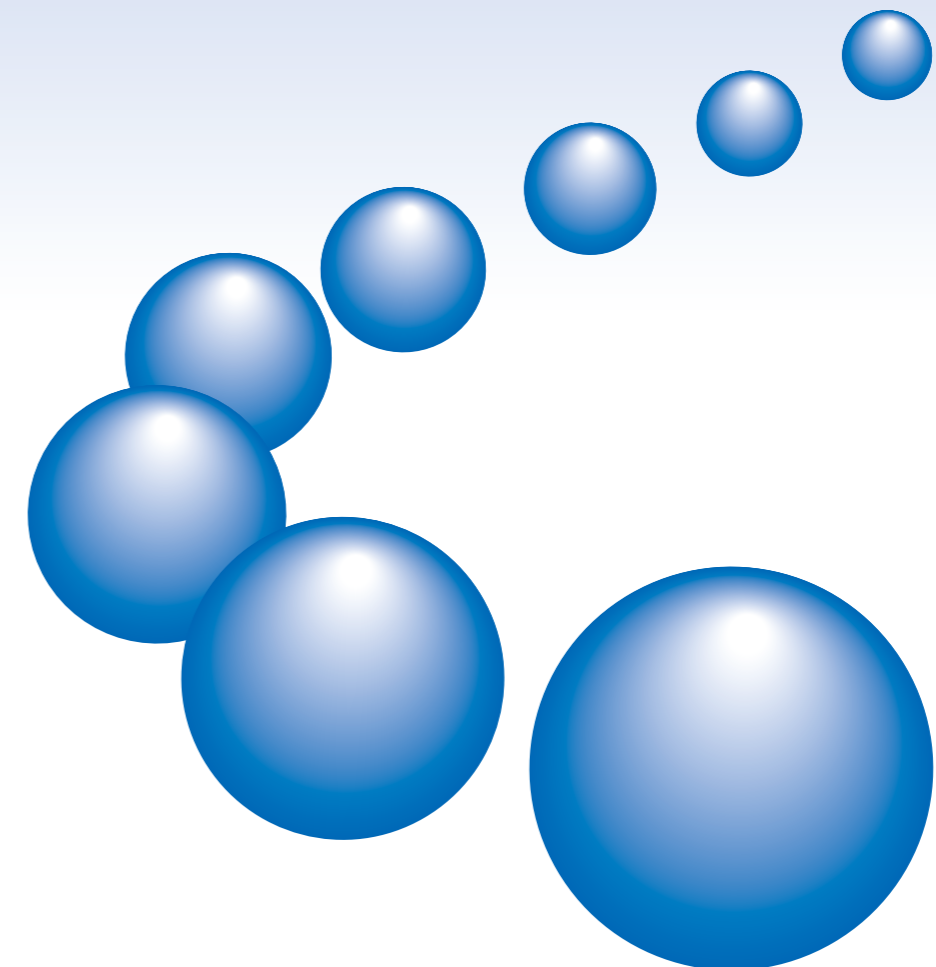
Dokkyo Medical Society
Dokkyo Medical University
Mibu, Tochigi, 321-0293 Japan

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.35, No.3 (153~268) October 2008

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.35, No.3, October 2008



獨協医学会雑誌



- I. 本誌の投稿論文は、和文または英文で、その内容が他誌に投稿中または掲載されていないものに限る。投稿に際して著者は、二重投稿でない旨を記した誓約書にサイン・捺印し、添付する。人体を対象とした研究では、ヘルシンキ宣言について述べられているように、科学のおよび倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意（インフォームドコンセント）取得と記載が必要である。動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて飼養および保管に配慮した旨の記載が必要である。
- II. 投稿者は獨協医学会会員に限る。
- III. 投稿論文は複数のレフリーによる査読を経た後に、その採否、掲載順序などを編集委員会で決定する。掲載後の全ての資料の著作権は編集委員会に属し、他誌への無断掲載は認めない。
- IV. 原稿は次の形式とする。
- (1) 原著 (2) 症例報告 (3) 短報 (4) 総説
(5) 通信 (6) 学位申請論文 (7) その他
- (1) 原著：次の様式とする。
1. 原稿は、A4版用紙を用い、ワードプロセッサにて白紙1枚に比較的大きなフォントの読み易い文字で和文の場合20×20行（マージンを大きくとる）、英文ではダブルスペースで印字する。和文中の外国言語語は欧文フォントを使用し、外来語、植物学名、外国人名、および外国地名などの日本語化した語はカタカナ表記（全角）を使用する。和文、英文ともに類用される語は略号を用いても良いがなるべく少なくする。略号は初出に正式な語を記し、続けて（略号）を記載する。
 2. 原稿は、A4版用紙25枚以内とし、正1部、副2部、計3部を提出する。但し、副については本文、文献、抄録、図表に限りコピーで良いが、写真は正原稿と同じものとする。
 3. 原稿の記述は、和文の場合、表題、欄外見出し（簡潔表題）、著者氏名、所属、連絡先住所、電話番号、FAX番号、要旨（500字以内）、索引用語（和文5語以内）、本文（緒言、方法、結果、考察、結論）、文献、英文表題、ローマ字著者名、英文所属、英文要旨（ダブルスペース300語以内）、Key Words（5語以内）、の順とする。英文の原稿も原則として上記に準ずるが、簡潔表題（running title）は40文字以内とし、和文要旨、和文キーワードなどは不要。
 4. 図（写真を含む）と表は別紙とし、図1あるいは表1の様に番号をつける。原稿には図表の挿入箇所を欄外に朱記する。図表の原稿はそのまま印刷出来る様に白紙に黒インクまたは印画紙に焼き付けた鮮明なものにする。またそれらの大きさは、刷り上りで1/4頁を原則とする。写真は裏面に筆頭者氏名、番号、上下を記入する。図表の説明は和文の場合、日本語、英語のどちらも可であるが、英語を選択した場合、表は順にTable 1. Table 2. とし、図（写真）は順にFig 1. Fig 2. と記載する。カラー印刷、またはトレーシングを必要とする場合は実費を徴収する。
 5. 数字は算用数字を用い、計量単位はSI単位を原則とする（例 mg, g, kg, mg/dl, ml, l, mm, cm, m, cm², °C など）。
 6. 文献
 - 1) 文献は本文中に引用番号順に配列し、論文の最後に文献としてまとめる。和文、英文ともに「印刷中」あるいは“in press”は文献として記載するが、私信などは本文中あるいは脚注に記載することと定める。
 - 2) 文献は次の形式による。著者名、論文表題、雑誌名、巻、頁（始めと終わりの頁）、発行年（西暦年号）。
 - 3) 雑誌名の略号はIndex Medicusを参考とし、和文雑誌名は略記しない。
 - 4) 著者名は、日本人は姓と名、外国人は姓と名（頭文字）とする。
 - 5) 単行本の引用には著者または編集者、書名、出版社とその都市名、引用頁、発行年を記入する。
 - 6) 著者名、編者名が4名以上の場合は最初の3名を書き、他は、他、またet alとする。
- 例1) 酒井昇, 中丸裕爾, 栗原秀雄, 他：甲状腺嚢胞に対するエタノール硬化療法を試み、耳鼻と臨床44：12-15, 1998.
- 例2) 清水潤, 西山和利, 武田浩一, 他：筋生検所見でtype II atrophy を認めた進行性半側萎縮性の1例（抄）臨床神経学 31：93, 1991.
- 例3) Sandman K and Reeve JN：Origin of the eukaryotic nucleus. Science 280：501, 1998.
- 例4) Kerkar N, Hadzic N, Davies ET, et al：De-novo autoimmune hepatitis after liver transplantation. Lancet 351：409-413, 1998.
- 例5) 大澤美貴雄：視覚刺激による事象関連電位（ERP）。臨床誘発電位ハンドブック。黒岩義之, 蘭生雅弘（編）, 中外医学社, 東京, pp210-213, 1998.
- 例6) Tanaka H, Hodumi A, Iwai T, et al：Evaluation of ERPs electrical field distribution in cortical and subcortical dementia. in “Brain Topography Today”. ed by Koga Y, Nagata K, Hirata K. Elsevier Science BV, Amsterdam, pp544-551, 1998.
- (2) 症例報告
- 1) 書式は原著に準ずる。但し、要旨は300字以内、索引用語は3語以内とする。
 - 2) 原稿の長さはA4版用紙10枚以内とする。
- (3) 短報
- 1) 独創的な研究、工夫、仮説などを内容とする。
 - 2) 書式は原著に準ずる。但し要旨は不要とし、索引用語は1語とする。
 - 3) 原稿の長さはA4版用紙4枚以内とする。
- (4) 総説
- 原則として編集委員長からの依頼により投稿されるものとし、A4版用紙20枚以内、その他は原著に準ずる。
- (5) 通信
- 必ずしも学術的な内容に限らず、広く会員の医療活動に関するものとする。
- (6) 学位申請論文
- 「学位申請論文の執筆投稿指針」を参照する。
- (7) その他
- 編集委員会が認めたものとする。
- V. 備考
1. 投稿にあたっては、人権を損なう恐れのないように配慮するのみならず、実験動物の論文においても、動物の維持・管理や疼痛の緩和などに配慮し、研究計画が研究実施機関の倫理委員会や動物実験委員会等によって承認された研究であることを明記する。
 2. 論文掲載が決定した後、最終原稿を収録したフロッピーディスク（3.5インチ、TXT形式で保存、ソフトは指定しないが使用機器名、ソフト名を明記する）を提出する。
 3. 著者校正は初校のみとする。校正は誤植、組版の誤りを訂正することにとどめ、内容を変えないこと。
 4. 掲載原稿、フロッピーディスクは返却しない。
 5. 刷り上り1頁は和文原稿用紙（20×20行）5枚分を目安とする。
 6. 掲載料は、次の基準による。
 - 1) 別刷は30部まで無料とし、それ以上は実費とする。
 - 2) 依頼された総説は無料とする。
 - 3) 特別掲載については別に定める。

Originals

- Effect of Oral Proccaterol in Combination with Inhaled Corticosteroids in Adult Patients with Bronchial Asthma Hironori Sagara et al... (153)
- Association Between Nerve Conduction Velocity and Clinical Parameters Related to Diabetic Complications in Patients with Type 2 Diabetes Kohzo Takebayashi et al... (161)
- Effects and Problems of Nasal Continuous Positive Airway Pressure for Neonates Yoshiyuki Watabe et al... (169)
- Analysis of the High-Incidences Inadvertent Errors in the Trial Examinations Masahito Hitosugi et al... (175)

Case Reports

- Massive Primary Cardiac Malignant Lymphoma found by Occurrence of Cardiogenic Cerebral Embolism Hisashi Hasumi et al... (179)
- A Case of Adult Intussusception due to Cancer of the Cecum Yasuhiro Obara et al... (185)
- Anesthetic Management of a Patient with Brain Death for Organ Donation：A First Case in Dokkyo Medical University Yoshito Kanbe et al... (191)

Special Edition

- Changes of Cardio Vascular Disease by Age Hiroaki Matsuoka... (197)
- Changes of the Aged Brain Hidehiro Takekawa et al... (203)
- Endocrine and Metabolism of Aging Nobuyuki Banba... (209)
- Aging of the Respiratory Systems Takeshi Fukuda... (219)
- Skin Changes during Aging Atsushi Hatamochi... (227)
- Physical and Psychological Changes with Ageing : Obstetrics and Gynecology Takeyoshi Ohkura... (237)
- Musculoskeletal Diseases and Osteoporosis Takashi Namikawa et al... (245)
- Aging and Age-related Eye Disease Eiichiro Matsui et al... (251)
- A Change by Aging : Otorhinolaryngology Satoru Fukami et al... (259)
- Age-related Change in Oral Cavity Hitoshi Kawamata et al... (263)